

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係

令和7年 12月 1日 / No.4

「お疲れさま、頑張ったね。」

弟は習い事から帰ってくると、いつも少ししょんぼりしています。だから私は、いつも弟に対して、「お疲れ様、頑張ったね。」と言うと、弟も「ありがとう。」と言ってくれるのがすごくうれしいです。これからも姉弟であつたか言葉をふやせればと思っています。

「おかえり」

バスからおりて家に帰る途中、近所のおじいちゃんやおばあちゃんたちが、「おかえり」と言ってくれます。その言葉を聞くと、学校でのつかれがとれてうれしいです。

「まってるよ。」

ぼくがねつをだして、がっこうをやすんだとき、よていちょうに「おだいじに。」や「まってるよ。」とおともだちがかいてくれて、とてもうれしくて、つぎのひはがっこうにいけました。

「食べてくれてありがとう」

ぼくのおばあちゃんは、野菜や果物をさいばいするのが上手です。スイカやメロンがたくさんできた時、家族みんなでおしく食べました。そしたらおばあちゃんが、「食べてくれてありがとう。」とよろこんでいました。ぼくたちが、「作ってくれてありがとう。」という前に、こんな風に言ってくれるおばあちゃん大好きです。

「見てる人は見てるよ」

私はバレエを習っています。ある日、レッスンで思うように踊れず悔しかったことがありました。自分の努力なんて誰にも伝わっていないんじゃないかと感じて落ち込んでいたときに、先輩がお菓子と一緒に手紙をくれました。その中には、「見てる人は見てるよ」と書かれていました。その言葉を読んで、私の頑張りをちゃんと見てくれている人がいるんだと分かり、胸がいっぱいになりました。あのときのうれしさを忘れずに、これからは私も、努力している人に「見てるよ」と伝えられるようになりたいです。

「地区も見守り隊（地区も見守りたい）」

前日、兄とけんかして元気がないぼく。登校中、見守り隊から「大丈夫？元気がなさそうだけど」と声をかけられてうれしかった。話を聞いてもらって気持ちが軽くなった。元気を取りもどして登校！何も言っていないのに、まわりのことをよく見て気付いてくれた見守り隊。ぼくもそんな人になりたい。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。